

第02回

- 講演者 津川 光太郎 氏（名古屋大学大学院多元数理研究科）
 - 題目：非線形波動方程式の時間局所適切性
 - 日時：平成19年6月1日（金）16:30-17:30

非線形双曲型波動方程式、非線形シュレディンガー方程式、Korteweg-de Vries 方程式など広い意味での非線形波動方程式に対する時間局所可解性の理論の最近の発展について紹介する。特に、90年代のブルガンによる時空フーリエノルムを用いるアイデアとそれ以前の手法との違い、ブルガン以降の発展の様子、及び、これらに関連する講演者の結果を紹介する。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

24 images

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2007/002>

Last update: **2017/11/17 15:08**

